

明石工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	美術-2	
科目基礎情報							
科目番号		6123		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実技		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		機械工学科		対象学年		1	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		編集部：「美術 1」、光村図書出版　その他課題に応じて資料となるプリントを配布する					
担当教員		大野 良平					
到達目標							
1. いくつかの方法で美術表現ができる。 2. 作品の鑑賞や合評での批評ができる。 3. 実生活と美術の関わり方を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		いくつかの方法で自在に美術表現ができる。		いくつかの方法で美術表現ができる。		いくつかの方法で美術表現ができない。	
評価項目2		作品の鑑賞や合評での批評が的確にできる。		作品の鑑賞や合評での批評ができる。		作品の鑑賞や合評での批評ができない。	
評価項目3		実生活と美術の関わり方を十分に理解している。		実生活と美術の関わり方を理解している。		実生活と美術の関わり方を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		平面描写(デッサン)、立体造形(粘土)、色彩(色材)、発想(イメージ)など、美術表現をとおして個々の感性を磨き、実生活と美術(アート)の関わり方を学ぶ。					
授業の進め方・方法		授業は主として美術表現の実技形式で進める。 連絡員：John Herbert					
注意点		この科目は、長年、現代美術作家としての作家活動やアートを介したまちづくりを実践してきた教員が、その経験を活かし、実技の授業をとおして美術とは何かを問うものである。 個々の主体性を要する科目である。意欲的に制作に取り組むこと。授業ではF6サイズスケッチブックを使用。用具等の忘れ物がないように。教室の後片付けと掃除を義務付ける。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	合評/次回の課題説明 4		模写・クロッキーの合評ができる。		
		2週	フィールドワーク1(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)		屋外スケッチができる。		
		3週	フィールドワーク2(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)		屋外スケッチができる。		
		4週	フィールドワーク3(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)		屋外スケッチができる。		
		5週	合評/次回の課題説明 5		屋外スケッチの合評ができる。		
		6週	デザイン(キャラクターを考える・1)		キャラクターのデザインができる。		
		7週	デザイン(キャラクターを考える・2)		キャラクターのデザインができる。		
		8週	デザイン(キャラクターを考える・3)		キャラクターのデザインができる。		
	4thQ	9週	環境アート1(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)		環境アートを鑑賞できる。		
		10週	環境アート2(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)		環境アートを鑑賞できる。		
		11週	環境アート3(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)		環境アートを鑑賞できる。		
		12週	発想表現1(イメージトレーニング)		発想表現ができる。		
		13週	発想表現2(イメージトレーニング)		発想表現ができる。		
		14週	発想表現3(イメージトレーニング)		発想表現ができる。		
		15週	美術総評		総評の内容を理解できる。		
		16週	期末試験実施せず				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	チームワークとリーダーシップ	チームワークとリーダーシップ	チーム活動において意見の相違や対立を踏まえて合意形成に向けて行動できる。		1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				チーム活動の目標共有を図り、目標達成に向けた行動を実践し、また、チームの協働を促進するための行動ができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
	基盤的資質・能力	自己理解	自己理解	自己理解に基づき必要な対応や行動を検討できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		主体性	主体性	自分が果たすべき役割や行動について認識できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自分が果たすべき役割や行動を実践できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		自己管理と責任ある行動	自己管理と責任ある行動	自分に求められる役割や行動を把握し、確認できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				やるべきことを実行するための具体的行動や計画を考えることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		倫理観	倫理観	自分の判断や行動、及びそれらがもたらす結果や影響について、倫理的観点から検討、評価できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
	評価割合					
		実技制作		出席状況・制作態度		合計
総合評価割合		80		20		100
基礎的能力		80		20		100
専門的能力		0		0		0
分野横断的能力		0		0		0